

年度評価シート

課名 産業政策課

施設の名称 文化・クリエイティブ産業振興センター	指定管理者名 株式会社ピーエーシー
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って、概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 各数値目標の達成状況について</p> <p><u>①利用者数（目標40,000人／年）43,820人（目標差+3,820人）</u></p> <p>「世界お茶まつり」と連動して事業を展開した『未来茶会（参加者数：4,536人）』や、「まちは劇場」をコンセプトにパフォーマンス・フェスティバル『OUR FESTIVAL SHIZUOKA（参加者数：5,790名）』などを開催した。市内の施設（歴史博物館、駿府の工房匠宿…）や団体（呉服町名店街、SPAC-静岡県舞台芸術センター）と連携した事業も展開しており、施設単独の事業としてではなく、地域で取り組むイベントを実施するなど、目標達成に向けた良好な運営がなされている。</p> <p><u>②利用者満足度（目標90%）：90.1%（目標差+0.1%）</u></p> <p>個別のセミナーやワークショップによっては、「創作やアートに興味を持った：98.08%」、「デザインへの興味がわく内容だった：97.59%」、「CCCのほかの事業にも参加してみたい：94.41%」など、目標を大きく上回る利用者満足度を得ている。</p> <p><u>③クリエイターと企業のマッチング件数（目標5件／年）：16件（目標差+11件）</u></p> <p>市内事業者とクリエイターのコラボレーションによる商品やサービスを開発するプロジェクト事業の実施により、目標を大きく上回るマッチング件数となった。</p> <p><u>④クリエイター集積数（3者／年）：0者（目標差△3者）</u></p> <p>市内への事務所開設を予定しているクリエイターからの問い合わせのみにとどまり、目標値の達成には至らなかった。なお、指定管理期間における目標値（12者／4年間）は、達成できている。</p> <p>(2) 事業の実施状況について</p> <p>当初の計画から内容の一部変えた事業や新たに追加した事業など、利用者のニーズに沿った事業の企画・運営を行っており、仕様書に定める実施事業が良好に実施されている。</p> <p>(3) センターの利用許可業務、適正な人員配置、維持管理業務等について</p> <p>業務仕様書のとおり適切に実施されている。</p>	

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては、適切な対応がとられている。また、メディアやチラシ等の媒体により市民に対して情報発信に努めており、また、意見・要望を積極的に取り入れる体制も整っている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

施設利用者に対して、アンケート形式による満足度調査を行った結果、全体では「とてもそう思う（良い）」「思う（良い）」の評価が、90.1%であった。事業の種別では、『セミナー／WS』が92.26%、『イベント等』が97.58%と、利用者参加形式の事業が好評を得ている。一方で、『展覧会』のみが88.27%と、目標値である90%を下回っている。

利用者アンケートにて意見のあった「作家の方のお話が聞きたかった」「アーティストに直接話が聞けたのがよかった」を参考に、単なる展示で終えるのではなく、作品に関する説明をアーティスト自らや事務スタッフが行うことで、利用者の満足度向上を目指す予定である。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算どおりに執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

コピーライティングについて学ぶ講座「コピーの学校」や、NTFアート作品の展示会「NY」では、新型コロナウイルス感染症拡大の対策として、YouTubeでのLIVE配信やZoomを活用した、オンラインとリアルハイブリッド形式での講座を実施しており、指定管理者の創意工夫が見られた。

また、「静岡のすごい技、見せます。アート・ホビー・クラフト展」では、withコロナにおける自分時間の過ごし方や楽しみ方をテーマにした事業、「未来デザインプロジェクト」では、サーキュラーエコノミーをテーマにした商品やサービスを開発する事業など、文化・クリエイティブ産業の振興だけでなく、社会課題を事業に取り入れようとする姿勢は、大変評価できる。

「OUR FESTIVAL SHIZUOKA」では、様々な施設（静岡市歴史博物館や駿府の工房匠宿など）や団体（呉服町名店街やSPAC-静岡県舞台芸術センターなど）と連携・協力しており、市民参加型の事業については、高い評価を得られていることから、今後も地域一体で賑わいの創出に努め、さらなる連携の拡大、ひいては文化・クリエイティブ産業の振興を通じた経済の活性化が図られることを期待したい。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。